



幸手中学校だより

平成30年11月2日(金)発行

校 是

「全力は美なり」

学校教育目標

「学び続ける生徒」「心豊かな生徒」「活力ある生徒」

【生徒数】

1年 163名 2年 160名 3年 206名 合計 530名

人生を充実させるために

校長 高野 治

校庭の木々も赤や黄色に色づき、秋を感じさせる季節となりました。朝晩は冬を思わせるような寒さも感じられるようになりました。先日の合唱コンクールでは、保護者の皆様におかれましては、ご多用のところ、そして足下の悪い中、生徒の歌声を聞きに来てくださりありがとうございました。全校合唱、学年合唱、クラス合唱の演奏では、全校生徒が歌声を響かせて幸手中学校が力強く団結した生徒達の姿を見られたことと思います。

さて、今月は時間の感じ方と人生について考えてみましょう。私たち人間は約80年の寿命があるといわれていますが、感じ方の一つに、私たちが生きた経験年数によるものがあります。たとえば、小学校の1年生では6歳、6年生になると12歳になります。1年生では生まれてから6年間しか生きていません。しかし、6年生になると12年間生きています。そこで、生きた経験年数の割合を考えると、1年生の時の1年間はこれまでの人生の6分の1ですが、6年生の時の1年間は人生の12分の1になります。すなわち、6年生の時の1年間は1年生の時の半分で過ぎた感覚になります。このように年齢と共に1年間の感じ方は、反比例して短く感じるようになるといわれています。

二つ目の感じ方は、忙しさです。明日までにやらなければならないことが山積している時には短く感じます。たとえば、定期テストの勉強をしている時に、一週間前くらい前までは「あと7日あるから余裕だ」と思っていて計画を立てずにのんびりしている時は長く感じますが、いよいよ明日に迫るとどうでしょう。「あれもやらなくては、これもやらなくては」とせわしなく、どんどん時間だけが過ぎてしまい、そのときは短く感じます。

三つ目は、充実しているかどうかです。楽しい時間はあっという間に過ぎてしまいますが、やることもなくダラダラとした時間を過ごしている時は長く感じます。ゲームなどをして楽しい思いをしている時は時間の過ぎるのを忘れて集中し、気がついた時には2時間、3時間が過ぎていたという経験はあると思います。ところが、早く終わればいいと感じている授業の時などは1時間が長く感じるものです。授業や勉強の時間が短く感じられるようになれば、集中力が増した証拠です。

四つ目は過去と未来によるものです。過ぎ去ってしまった過去は短く感じます。また、これから歩む人生は無限にあると感じ、長く感じるものです。過去については、自分が歩んできた人生を振り返った時に、過去にいろいろな体験や経験をしている人は、自分自身の人生の歴史がたくさんあるので、充実感があります。反対に同じような生活をただだららとしてっていると振り返っても自分の歴史が薄いので、充実感も満足感もなく、短い人生だったとしかいえなくなってしまうのです。

皆さんは、これまでの人生を振り返って、短く感じた時間や長く感じた時間を思い出し、これからの人生をどう生きるか、未来を見据えて充実した時間を過ごすことが大切です。そのためには、「今何をすべきか」「いつまでに何をしなければいけないのか」を考え、毎日の生活を計画的に過ごしましょう。

生き方を考えた 職場体験(2年)! 【H30.10.4(木)5(金)】

緊張した面持ちながらも目を輝かせて一生懸命に仕事をしていました。「働く」ということについて、生徒はまだまだ本当の厳しさを知るところまでには至りませんが、自分の将来の進路を考えたことや自分を支えてくれている保護者をはじめとする大人達への感謝の気持ちを持つことなど、実に貴重な経験をさせていただきました。これもひとえに、御多忙中にもかかわらず、生徒を快く受け入れてくださり、優しさも厳しさをもって御指導をしてくださった事業所の皆様のおかげです。幸手中学校への御支援、御協力に感謝申し上げます。



「生徒会役員選挙」これまでありがとう! これからよろしく!! 【H30.10.24】



生徒会役員改選選挙が行われました。立候補者一人一人が、幸手中をさらによくするための「決意」と「方策」を立ち会い演説会において全校生徒に訴えました。

「立候補した責任・推薦した責任・投票した責任」を忘れることなく、皆でよき伝統を引き継ぎつつ、新生徒会の創意工夫を加えて、新たな1ページを綴っていきましょう。前生徒会役員のみなさんの「気づき、考え、行動した」取組は、素晴らしいものでした。お疲れさまでした。

大きく実った「合唱コンクール」! 【H30.10.27(土)】

7月下旬に各クラスの自由曲が決まり、指揮者・伴奏者になった生徒からは、夏休みから練習を始めたという声を聞いています。クラス練習も9月から始まり、実行委員やパートリーダーが級友に声をかけ、帰りの会の練習に励む姿も、日に日に熱を帯びてきました。当日は、どの学年どの学級も、それまでの練習の成果が表れていました。生徒の「振り返り用紙」から、その一節を掲載します。- 「合唱コンクールを通じて練習が大切だということが分かりました。…積み重ねが一番大事ということに気づきました」「…チームワーク、協力し合うことが大切なんだと気付きました」「…心をつ一つにして協力し合えば、素晴らしいものが生まれる」-

日	曜	11月の行事予定
1	木	☆開校記念日 幸手市委嘱研究発表会
2	金	三者面談
3	土	☆文化の日
4	日	埼玉県駅伝競走大会
5	月	三者面談 後期時間割開始
6	火	三者面談 幸手市音楽発表会 県大会
7	水	県大会
8	木	3年埼葛テスト 専門委員会 県大会
9	金	安全点検日 県大会
10	土	
11	日	
12	月	
13	火	
14	水	県民の日 県大会
15	木	3年期末テスト
16	金	3年期末テスト
17	土	PTAバザー準備
18	日	PTAバザー
19	月	評議会
20	火	表彰朝礼 薬物乱用防止教室 1年保護者会 東部南地区音楽会
21	水	2年授業参観(5校時)
22	木	3年性教育講演会(3校時) 特別支援学級合同学習会 部活中止期間
23	金	☆勤労感謝の日
24	土	
25	日	
26	月	
27	火	1,2年期末テスト
28	水	1,2年期末テスト 人権集会(5校時)
29	木	進路検討委員会 23456の5時間授業
30	金	

どの学級にも「実り」がありました。「実り」とは、これまでの頑張りの結晶です。「実り」とは、単なる結果ではなく、努力してきた成果です。一人で実らせることはできません。誰かの手助けや協力があってこそ「実り」です。各学級の「実り」をみんなで確認・共有して、今後の学校生活に活かしていくことが大切です。



ご来校いただきました保護者や地域の皆様、ありがとうございました。

